



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るくいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第141号
令和4年1月20日発行
発行・編集

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com



年頭のごあいさつ 社会福祉法人いわき市社会福祉協議会 会長 強口 暢子 こわくちのぶこ

新年おめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本会の福祉活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年も市民の皆様とともに、「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」の実現を目指し、役職員一丸となり地域福祉の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

目次

年頭のごあいさつ	1
住民支え合い事業	2～3
いわき市住民支え合い活動づくり事業	4
つどいの場創出支援事業	5
緊急連絡カード(兼)救急医療情報キット配備事業	5
社協通信	6～7
地区協議会だより	8



社協のイメージキャラクター「ふくみちゃん」

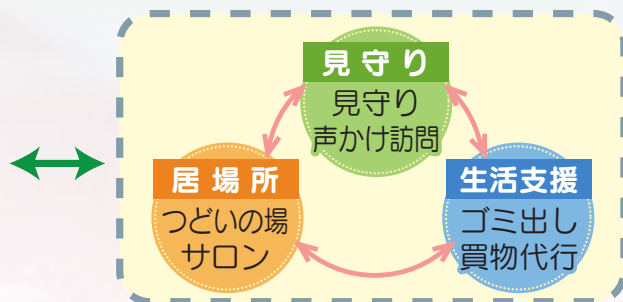
住民支え合い事業

現在、市内45ヶ所で、地域住民の身近な生活圏域となる行政区・自治会等に住民組織（第3層協議体）を設置し、住民が抱える生活課題や生活支援ニーズを把握し、多様な生活課題の解決に向けて、地域住民・関係機関等が協働しながら、生活に不安を抱える方々の見守りや支援する仕組みづくりを行っています。

また、災害時に備え、住民同士による支援の在り方についても話し合いを進めております。

住民組織の役割

- ① 話し合う（住民の声を聴く）
- ② 知る（生活支援ニーズの調査・分析）
- ③ 活動計画（地域が目指す方向性）
- ④ 学び合う（スキルの向上・研修会開催）
- ⑤ 担い手をつくる（人材育成）
- ⑥ 知らせる（支え合い活動の広報）



（地区指定期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日）※順不同

地区名	実施地区（名称）	地区名	実施地区（名称）
平 (2)	平第24区（城山結いの会）	遠野 (11)	下滝区（住民支え合い会）
	平第48区（鎌田・愛結いの会）		関屋・落合地区（ふれあい会）
小名浜 (4)	玉川町西区（お助け隊）		西根地区（安心サポート隊）
	永崎区（ふれあい会）		前田地区（住民支え合い会）
	玉露1・2区（高齢者見守り隊）		深山田区（なごみの輪）
	岡小名第一東区		上遠野区（結の和）
勿来 (4)	南台1・2区（南台ひまわり会）		上遠野区（やまびこ会）
	関田連合自治会（関田ふれあい隊）		入上・中野天王区（高齢者見守り隊）
	九面区	小川 (4)	塩田区
	金山西・金山南区		山ノ入・淵沢区
常磐 (2)	下船尾地区（船尾いきいきサポーターの会）		江田・牛小川区
	上川区（ほほえみの会）		高萩区
内郷 (5)	高坂9区（つどいの会）	好間 (4)	田代・沼平区
	高野町区会		北二区（ひだまり会）
	宮1区		椎木平区（福寿会）
	高坂7区		中好間区
	宮12区	田人 (1)	入旅人大字区（わが町協力隊289）
四倉 (3)	新町区（笑顔の会）	川前 (2)	山下谷区
	梅ヶ丘南区（21区ニコニコ会）		沢尻区
	5区・9区	久之浜・大久 (3)	西町1区（ふれあい協議会）
遠野 (11)	上根本区（住民支え合い会）		中町町内会
	入定地区（徳溢会）		東町町内会
	東山区（さわやか応援隊）		

住民支え合い活動の取り組みをご紹介します

勿来：金山西・金山南区 代表 澤田 廣

金山地区においても、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦の世帯が増加し、ご近所付き合いの希薄化、孤独死等の地域の問題が深刻になることが懸念されています。

そのような中で、金山西、金山南地区にお住まいの皆様が「住んで良かったな」と思えるような町にしたい！」という思いを胸に、誰もが住み慣れた地域の中で、安全で安心した生活を送ることができるよう、自分たちで考え、話し合い、互いに支え合う活動を行うことで住みよい環境づくりを目指すことを目的に立ち上げました。

令和3年1月より活動を開始しましたが、金山地区は6つの行政区に分かれており、一度に立ち上げるには規模が大きくなることから、まずは2地区を先行して取り組み、徐々に活動を広げていきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動を中断する月もありましたが、現在は生活支援ニーズの聞き取り調査を行う段階まで進んできており、地域の皆様が安心して暮らしていけるよう活動していきます。



住民支え合い会議（第3層協議体）の様子

～担当職員より～

金山地区でも高齢化が進み、以前から隣近所の住民同士による支え合いが必要となっていたことがきっかけとなり、今後の地区のことを考えていこうと、この活動を始めました。

世帯数が多い地域でこの活動を進めるにあたり、先行して取り組み始めた2地区を5つのブロックに分け、隣組長の協力を得てブロックごとに話し合いや活動を実施することにしました。

各ブロックの情報を集約して地区全体で課題の共有と分析及び解決に向けた協議・決定を進めていきたいと考えています。

今後は、金山地区全体に支え合いの輪が広がっていくよう活動を進めていきます。

好間：中好間区 代表 鈴木 久典

令和元年5月から住民支え合い活動を始めるための準備会議を重ねる中で、10月に発生した台風19号の影響により、当地区でも多くの高齢者世帯が浸水被害を受けました。その際、高齢者世帯の様子が気になったことが、見守り活動を始めるきっかけとなりました。

活動当初は、4つの行政区のうち、まずは1区と2区を対象に、7名の見守り隊メンバーでスタートしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動を中断する月もありましたが、現在は対象を1区から4区までに拡大し、見守り隊のメンバーも10名に増えました。

活動に取り組む中で、一人暮らしの世帯をどう支えていくかが課題となっていました。毎月第2火曜日の訪問を心待ちにしてくれている方がいることは、活動を継続する励みとなっています。

また、空き家が増えており、住民同士のつながりが薄れつつありますが、この活動をきっかけに、高齢者の方が笑顔になり、そして子ども達との仲も深まることを願いながら訪問を続けていきます。



見守り訪問の様子

～担当職員より～

区長、区役員、見守り隊メンバーが協力し合い、安心して暮らせる地域づくりを進めています。

「見守り訪問」から始めた活動では、高齢者から「ご苦労さん、いつも来てもらって嬉しいです」との声が聞かれています。

見守り隊メンバーとの交流も深まり「また来月、来ますね」と声を掛け合うことで、地域全体に安心感が広がっています。

今、問題がなくてもこれから先、住民同士の支え合いが、ますます大切になってきます。

将来の地域のため、そして自分のために、出来ることから始めてみましょう！

各地区でさまざまな取り組みを行っています。詳しくは、地域福祉課 ☎23-3320(代)まで

構成メンバーと取り組み

第2層協議体の構成メンバーは、平成27年～平成28年度に実施した「いわき市住民支え合い活動づくりモデル事業」により創出された支え合い活動の当事者や高齢者見守り隊、その他既存のボランティア団体、民間企業、NPO法人、福祉施設など20名程度で構成しています。

令和3年7月から11月にかけて、第2層協議体第10回会議を開催し、第3層協議体の地区指定状況や住民支え合い生活支援サービスの実施状況などを報告しました。

また、住民支え合い活動に関する働きかけ支援の状況や、地域の現状について情報共有しました。



常磐地区第2層協議体会議の様子



平成29年度から、市の事業委託を受けて、地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、地域で暮らす高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者など何らかの関わりやつながりが必要とする方々にどのような支援が求められているのかを共に考え、それに対して「できる・やりたい・必要」と考える「住民支え合い活動」を地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現を目的に、「第2層協議体」を市内13地区（平地区を含む支所単位）に設置し、各地区内の支え合い活動の状況や、住民支え合い生活支援サービスの実施状況などについて話し合いを行っています。



いわき市 住民支え合い活動づくり事業

お困りごとはありませんか？

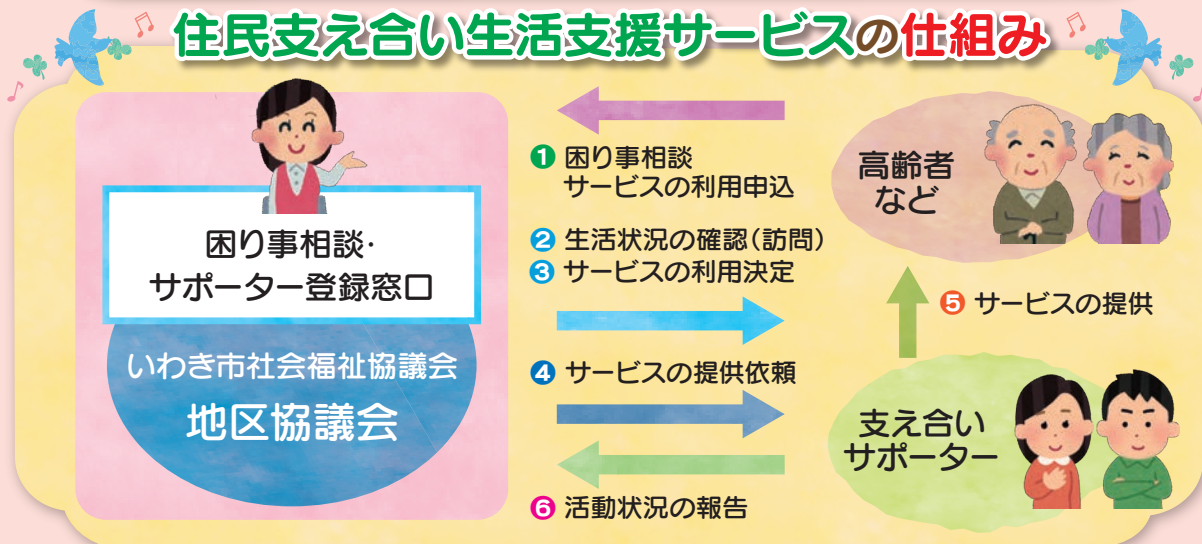
高齢者や障がい者などの皆さんが、日常生活の中で抱える生活課題や困りごとに対応するため、住民同士が共に支え合い、助け合うための仕組みとして、「住民支え合い生活支援サービス」を実施しております。

ゴミ出しや電球交換などお困りの方は、お住まいの地域のいわき市社会福祉協議会 各地区協議会まで、お気軽にご相談ください。

また、お手伝いにご協力いただける方（サポーター）も募集しております。



住民支え合い生活支援サービスの仕組み



お問い合わせ先 地域福祉課 ☎23-3320(代)まで

～健康づくり始めませんか～ つどいの場創出支援事業

この事業は、高齢者を年齢や身体状況によって分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することができ、介護予防活動が地域で展開されていけるよう、シルバーリハビリ体操等の介護予防を重視した取り組みを中心に実施しています。

高齢者を中心とした地域の皆様が、健康づくりや介護予防に関する活動ができる「つどいの場」を市内全域で広がっています。

令和3年12月1日現在で、市内の公民館、集会所等272カ所で5,624名が登録して活動しています。



シルバーリハビリ体操



健康体操

～もしもの時の備えに～ 緊急連絡カード(兼)救急医療情報キット配備事業



一人暮らし高齢者や障がい者の方などが、地域で安心して生活できるよう、民生委員・児童委員が中心となり配備を進めており、保健・医療・福祉関係者と連携を取り合いながら、見守り活動を行っています。

また、高齢者を狙った悪質な犯罪から守るための取組みとしても役立てられています。

令和2年度は、一人暮らし高齢者4,153名、高齢者世帯1,903名、日中一人暮らし高齢者575名、障がい者等世帯372名の合計7,003名に配備しました。

～配備が活かされた事例～

近隣住民とのつながりが少なく、一人で暮らしていた高齢者宅で火災が発生した際に、緊急連絡カードに記載の親族へ速やかに連絡することが出来ました。

第47回

いわき市総合社会福祉大会を 開催しました！

社協通信



【市長感謝】 69名
【大会会長表彰】 79名 6団体
【大会会長感謝】 25名 4団体

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、受賞者とその付添者のみを招待し、「いわき市総合社会福祉大会」（主催＝いわき市・いわき市社会福祉協議会）を、令和3年11月17日（水）いわき芸術文化交流館アリオスで開催しました。

大会の席上、本市の福祉の向上発展に功労のあった方々に表彰を行いました。

第75回 福島県社会福祉大会が相馬市で開催されました！

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、「第75回福島県社会福祉大会」が令和3年11月5日（金）相馬市民会館で開催されました。

式典では、県内の福祉向上に多大な貢献をされた方々の表彰が行われ、本市からは112名、8団体が受賞しました。

【知事表彰】 19名 3団体
【知事感謝】 64名 3団体
【大会会長表彰】 23名
【大会会長感謝】 6名 2団体

(株)日立物流東日本流通サービス 日立物流「まごころ基金」様より車椅子の寄贈

令和3年11月26日（金）、(株)日立物流東日本流通サービス日立物流「まごころ基金」様から車椅子1台が寄贈されました。
ありがとうございました。

日立物流「まごころ基金」とは

日立物流グループの従業員や役員の有志から寄付金を募り、「交通安全・交通事故防止」「地域貢献・社会福祉」「環境再生・環境保全」の分野への寄贈や寄付活動を目的に実施されています。



ご相談ください

生活・就労支援センター

生活・就労支援センターでは、生活や仕事のことなどでお困りの方からの相談をお受けし、困りごとの解決に向けて、一人ひとりの生活状況に合わせた、支援先の紹介や継続的な支援を行っています。

どんなことでも相談してください。



仕事が
見つからない



引きこもりの子どもの
将来が不安



借金の返済で
生活が苦しい



お金がなくて
病院に行けない



収入がなく
家賃が払えない

課題解決に向けて各種支援関係機関と連携しながら支援します。

お問い合わせ先 生活・就労支援センター ☎38-6500まで

seikatsu-shien@iwaki-shakyo.com

教育支援資金のご案内

社会福祉協議会では、高校、専門学校、短大、大学等の進学にあたって経済的にお困りの方に、生活福祉資金の「教育支援資金」の貸付を行っています。

◆ご利用いただける世帯

収入が一定基準以下で、他の貸付制度（国の教育ローン・母子父子寡婦福祉資金・日本学生支援機構の奨学金など）を利用することが困難な世帯

◆貸付利子 無利子

◆借受人 実際に就学する方

◆連帯借受人 原則として、同一世帯の生計中心者

◆連帯保証人 原則として、65歳以下の収入のある県内居住者

◆償還期間 卒業後6カ月以内の据置期間経過後、20年以内

貸付種類	対象経費	貸付限度額
教育支援費	修学に必要な経費 授業料・参考書・学用品・ 交通費(通学定期代)・ アパート家賃など	①高等学校(専修学校高等課程含む) 月額35,000円以内 ②高等専門学校 月額60,000円以内 ③短期大学(専修学校専門課程) 月額60,000円以内 ④大学 月額65,000円以内
就学支度費	入学に際し必要な経費 入学金・制服・教科書 等の入学時に学校に納 入する経費	500,000円以内



お問い合わせは
お住まいの地区の地区協議会まで

地区名	お問い合わせ先	電話番号
平	平地区協議会	22-6441
小名浜	小名浜地区協議会	54-2111(代)
勿来	勿来地区協議会	63-2111(代)
常磐	常磐地区協議会	43-2111(代)
内郷	内郷地区協議会	27-8707
四倉	四倉地区協議会	32-2114(代)
遠野	遠野地区協議会	89-2111(代)
小川	小川地区協議会	83-1111(代)
好間	好間地区協議会	36-2221(代)
三和	三和地区協議会	86-2111(代)
田人	田人地区協議会	69-2111(代)
川前	川前地区協議会	84-2111(代)
久之浜・大久	久之浜・大久地区協議会	82-2111(代)

地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

勿来地区協議会(子育てサロン)



親子でふれあい、遊び、リフレッシュすることを目的に、江栗公民館と東田公民館において毎月開催しています。

民生委員・児童委員や主任児童委員の見守りのもと、曲に合わせた体操や絵本の読み聞かせなどを行っています。また、子育てに役立つ情報提供なども行っています。

◆詳しくは、勿来地区協議会 ☎63-2111代まで

内郷地区協議会(防火deふれあう)



内郷女性消防クラブとの共催により、「自分たちの命は自分たちで守る」という意識を高めることを目的に、11月9日に下綴地区の高齢者世帯(148世帯)を訪問しました。

民生委員・児童委員、中央警察署、消防団などの関係機関の協力により、手作り絵手紙や防災用品を配布しながら、地域の防火・防災の強化に努めました。

◆詳しくは、内郷地区協議会 ☎27-8707まで

四倉地区協議会 (ボランティア講座)



「地域の支え合い」をテーマに10月18日、四倉集会所でボランティア講座を開催しました。

当日は12名が参加し、地域の支え合いを広めるためには何が必要なのかを考える機会となり、参加者から「自分の地域でも支え合いの輪を広げていきたい」などの声が聞かれました。

◆詳しくは、四倉地区協議会 ☎32-2114代まで

川前地区協議会 (地域健康増進活動事業)



高齢者が明るく、生きがいのある生活と健康維持のため、年9回、川前公民館

で開催しています。

踊りを通した健康増進と参加者同士の親睦や交流が深まり、参加者からは、「体操を兼ねた踊りは、心も体もリフレッシュできた」などの声が聞かれ、毎回楽しんで活動しています。

◆詳しくは、川前地区協議会 ☎84-2111代まで

久之浜・大久地区協議会 (夕食宅配サービス)



民生委員・児童委員の協力により、75歳以上の一人暮らし高齢者と、80歳以上の

高齢者のみ世帯157人(希望者)を対象に、見守りを兼ねて12月11日に「特製弁当」を届けました。

地元商店のお弁当は、彩り豊かで食べやすく調理されており大変喜ばれました。

◆詳しくは、久之浜・大久地区協議会 ☎82-2111代まで



編集後記

新年おめでとうございます。今号では、住民支え合い活動を取り上げましたが、困りごとを抱えた方の支援には、人と人とのつながりや関係機関とのネットワークが大切であると改めて感じました。引き続き、地域の皆様や関係機関とともに住民支え合い活動の取り組みを進めてまいります。
広報委員一同

皆さまの声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。
住所: いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <https://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市社協
ホームページ